

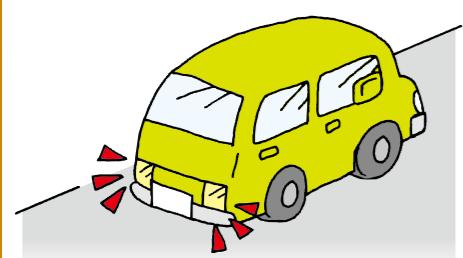
発災直後

地震発生

発災前

路肩に停車、災害情報を収集

車を運転中の場合は、ハザードランプをつけて路肩に停車し、防災メールやラジオ、テレビなどで警報、注意報、避難情報など最新の状況を把握しましょう。



防災メールを事前に登録しておくと便利!

地震発生!



緊急地震速報受信!

屋外の場合 父

中心市街地にて勤務中
(津波浸水想定区域外)

津波警報確認

テレビ、防災ラジオ、防災行政無線や防災アプリなどで津波が発生したかどうか、または到達時間などを把握しましょう。



これは便利!
自動で受信!
起動するわけね。

事前に家具を固定しておいてよかったです。

キャー!



緊急地震速報受信!

自宅の場合 母

沿岸部在住

ラジオが勝手に鳴り始めた!

まずは、身の安全を確保して!



預張ります!

今回は被災シミュレーションを通して、災害への備えや災害時の対処法をご紹介します。

僕は少年防災士のマモル。大災害への日頃からの備えは欠かせません!

大津波が宮崎を襲った日 ~外所大地震~

356年前の1662年10月31日深夜、日向灘沖でM7.5の地震が発生し、押し寄せた巨大津波が沿岸の7つの村を飲み込んだ。その被害を忘れないという地域の思いで、木花地区には50年ごとに建立されているという供養塔が7つ建っている。



主人公はなちやんが家族とともに地震と津波の被害を乗り越えていく物語。
制作: 宮崎「橋の日」実行委員会
問: 事務局(鶴羽) ☎ 090-9566-4159

南海トラフ巨大地震発生確率
今後30年以内に
70~80%!!

紙芝居「とんとろ地震」より

特集／防災の心得

明日の「万が一」に備えて

東日本大震災から7年が経過し、近年の九州では熊本地震や九州北部豪雨など、毎年のように大きな災害に見舞われています。そこで私たちが今、できることは?

少年防災士マモルくんを案内役に防災の心得を紹介します。

